

校長室だより

令和2年6月24日 No13

大田区立入新井第五小学校

校長 岡野 範 嗣

通常授業3日目 休み時間は、水を得た魚のように

通常授業が始まり、3日が経ちました。朝は少し眠そうにしている子どもいますが、20分休みは、今まで遊べなかったストレスを発散するかのよう、どの子ども友達と仲良く元気に遊んでいます。校庭が狭いこともあって密集感がありますが、先生からの注意を守ってマスクをし、友達と近づきすぎないようにじょうずに遊んでいるのが、とてもえらいです。子どもたちの嬉しそうな声、走り回る姿、本来の学校らしさが戻ってきたことに先生方も喜びを感じるのか、子どもと一緒にふれあう先生方の表情は、みな笑顔であふれています。先生も子どもも笑顔でいられることが、やはり一番の理想ですね。この調子で、しっかり「気持ち」と「身体」を、学校にならしていってもらえればと思います。



朝の体温チェック



友達と遊んでいるときは、みんな笑顔がとってもいいね。

●健康診断が始まりました



本来でしたら、4・5月にほとんどの検診が終わる「定期健康診断」ですが、今年は、学校の休校の影響で大幅に遅れてのスタートとなってしまいました。養護教諭も、毎日、コロナウイルス対応と、ケガ・体調不良の子どもへの対応も加わり、目の回るような一日を過ごしています。子どもたちのために一生懸命頑張っているのです、皆さんも応援してあげてください。

●玄関の扉を2か所とも開けることにしました

朝の体温チェックを待つ子どもの列が、道にまで出してしまうため、正門入口のドアを2面とも開けることにしました。風通しもよくなったように思います。

